水稲

◎刈り取り後の管理

◎刈り取りは籾の黄化を確認し、適期刈り取りを行い良質米生産に努めましょう。（収穫適期の目安は２０２６年ＪＡひろしま水稲栽培こよみをご確認ください。）

◎稲刈り後は、雑草対策や土づくりを行い、次年度の作付けに備えましょう。

【除草剤による雑草対策】

塊茎で増えるクログワイやオモダカは、稲刈り後、再度雑草が伸長し草丈20㎝以上になった状態で、緑色の茎葉部に除草剤散布を行い、塊茎の形成を阻害させましょう。

除草剤	ラウンドアップマックスロード
適用場所	水田刈後
10a当り使用量 薬量	500～1,000ml
10a当り使用量 希釈水量	50～100L
使用時期	雑草生育期
使用回数	1回

【土づくり】

翌年の良質米生産に向けて赤枯れ症などを軽減するため、稲刈り後は稲ワラ腐熟促進剤などを散布しましょう。また、土づくり資材等の施用を行い、地力向上を図りましょう。

①稲ワラの腐熟促進：秋～春期（稲刈り後～3月）に稲ワラ腐熟促進剤を施用し耕うんする
・ワラクサール粒剤15kg／10ａ又は
・アグリ革命（細粒）2kg／10ａ

②土づくり肥料の施用（10ａあたり）
・堆肥　1000kg
・ミネラルG又はケイカル
毎年施用の場合　120kg
隔年施用の場合　200kg

野菜

たまねぎ

◎播種時期から定植時期の管理

【苗づくり】

・本圃面積1ａあたり、すじ播きで5～6㎡程度の苗床が必要です。
※本圃面積1ａあたりの定植本数の目安は2，000本程度です。

【播種のポイント】

・各品種の播種時期を確認し、早播き・遅播きは避け、適期に播種しましょう。
・播種前日に苗床に十分かん水し、播種当日は、条間8～10㎝、播種間隔1㎝程度で、すじ播きをしましょう。
・厚播きにならないように丁寧に播種し、覆土は1㎝以下となるように薄く行いましょう。
・乾燥防止のため、苗床表面に、もみ殻、くん炭などを敷くとよいでしょう。

【播種後の管理】

・播種後から出芽するまでは、晴天が続くようなら、毎日かん水を行い、土壌水分を維持しましょう。
・出芽以降も、土壌表面が乾いてきたらかん水を行いましょう。

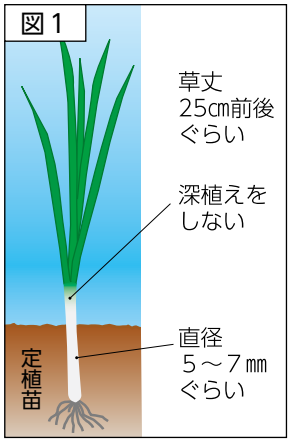
【定植】

・定植苗は、育苗日数が55日前後で、草丈が25㎝前後、茎の太さが5～7㎜程度、100本重量が370～500g程度の苗が理想です。（図1）
・とう立ちを防ぐため、生育過剰の苗や、大苗での定植は避けましょう。
・畝幅100㎝程度の畝に4条植えとし、条間20㎝、株間は晩生品種で10㎝、早生品種・中生品種で12㎝を基準に植え付けましょう。

【定植のポイント】

・植える深さは2～3㎝とし、葉の分岐点より上に土をかけないようにしましょう。
・定植後は十分にかん水を行いましょう。
・定植後5日間程度は乾燥すればかん水を行い、活着を促しましょう。

図1



【作型の目安】※品種や圃場条件によって異なります。

作型	品種の例	播種時期	定植時期	収穫時期
早生	マッハ	9月中下旬	11月上中旬	5月上旬～
中生	ターボ・アトン	9月下旬	11月中旬	6月上旬～
中晩性・晩生	ネオアース	9月下旬	11月中下旬	6月下旬～

※マッハ、ターボ、アトン、ネオアースはタキイ種苗の品種です。

【苗床の施肥】

	時期	肥料	施肥量
土づくり肥料	播種の1カ月～2週間前	完熟堆肥	30kg／10㎡
		苦土石灰	1.5kg／10㎡
基　肥	播種2週間前まで	やさい化成1号	1kg／10㎡

・土づくり肥料・基肥の施用後は耕うんし、土となじませましょう。

【定植圃場の準備】施肥の目安

	時期	肥料	施肥量
土づくり肥料	定植の1カ月～2週間前	完熟堆肥	200kg／a
		苦土石灰	15kg／a
基　肥	定植2週間前まで	やさい化成1号	7kg／a

・土づくり肥料施用後は耕うんし、土となじませましょう。
・基肥施用後は耕うんし、畝幅100cm程度の畝立てを行いましょう。

三次トピックス

地域の情報をお届け!

「ちゃぐりん」寄贈で三次市から感謝状
JA三次地域

JA三次地域は6月22日、食農教育月刊誌「ちゃぐりん」(家の光協会発行)の寄贈に対し、三次市の福岡誠志市長から感謝状を贈呈されました。「ちゃぐりん」の寄贈事業は2005年度から毎年行っており、2026年度は三次市内の小学校4年生368人に1年間、配本しています。この事業により「ちゃぐりん」を贈呈された子どもは延べ7,932人となり、多くの子ども達が「食」や「農」の大切さを身近に学んでいます。

同JA管内は食農教育事業に力を入れており、食農体験活動「ちゃぐりんキッズクラブ」を全支店で展開しています。昨年度は17会場で行い、支援者を含め、延べ1,721人が参加しました。

▲JA三次地域　大田浩之統括長(左)、福岡市長(右)

特殊詐欺防ぎ感謝状
JA三和支店

JA三和支店は6月22日、特殊詐欺の被害を未然に防いだとして、三次警察署から感謝状を受けました。

6月上旬、80代の男性が定期積金の解約手続きのため同支店へ来店。男性は定期積金の証書を持参していなかったため、同日の夕方、伊藤真吾副支店長が男性の自宅を訪れて、資金使途を確認したところ、「警察から妻の口座へ振り込みするよう指示があった」「振り込み後、警察から再度指示がある」などと男性から聞き、不審に思い、振り込みをやめるよう説得。詐欺の可能性が高いと判断し同署に通報しました。

伊藤副支店長は「日頃から組合員、利用者への声掛けを意識している。組合員の大切な財産を守ることができ良かった」と話しました。

▲三次警察署から感謝状を受け取る伊藤副支店長(中)

地域に親しまれる施設に
天神発電所壁面アートお披露目会

JA三次地域は7月2日、更新工事を終えた天神発電所(三次市布野町)の壁面アートのお披露目会を開き、関係者ら約40人が出席しました。壁面アートは自然の恵みを生かした電力の発電で地域の暮らしを支える小水力発電所をPRしようと、同JAと施設更新委託先の京葉ガスエナジーソリューション(千葉県)、地元小学校の同市立布野小学校5・6年生19人が共同で制作しました。

壁面アートは横8・3m、縦2・1m。児童一人ひとりが「布野川周辺の生き物とわたし」をテーマに描いた絵を組み合わせ、遠くから見ると文字に見えるアート作品となっています。児童は「みんなの小さな絵で大きな壁面アートが完成した。地域に親しまれる施設になってほしい」と話しました。

同発電所は布野川を取水源に1961年から稼働している小水力発電施設で建設から60年以上経過し老朽化が進んでいたことから更新工事を行いました。

▲壁面アートを制作した布野小学校児童

一支部一福祉活動の展開を
たんぽぽの会総会

JA三次地域のボランティア組織「ふれあい助けあい組織たんぽぽの会」は6月2日、三次農協会館大ホールで総会を開き、会員、関係者ら約80人が参加しました。

総会は活動計画など2議案を承認。今年度も行政、社会福祉協議会など関係機関と連携し、地域のニーズにあった高齢者の生きがい活動、助け合い活動を展開していきます。

総会後はJA共済しあわせ健康教室として、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンターから講師を招き、関節痛の予防体操等を学びました。

「たんぽぽの会」は1997年に組合員、女性部、地域住民が連携して発足。現在会員763人が一支部一福祉活動をスローガンに、管内17支部で福祉施設への慰問や清掃活動、手づくりプレゼント製作など、地域に密着した福祉活動を行っています。

▲総会で2議案を承認

きらり女性部活動

農業体験で交流 フレッシュミズ部会

ＪＡ女性部三次地区本部フレッシュミズ部会は６月６日、部員間の絆づくりや農業体験の一環としてサツマイモ苗の定植作業を行い、部員や部員家族ら17人が参加しました。

参加者は、マルチに穴をあけ、協力しながらサツマイモの苗100本を植え付けました。秋には収穫し焼き芋にして味わう他、イベントでの販売を予定しています。参加した子どもは「自分たちが植えて育てたサツマイモを食べるのが楽しみ」と話しました。

同部会は女性部の次世代後継者層として農業体験や農産加工、イベント参加など食と農を中心とした活動を行っています。

▲参加されたみなさん

ＪＡ女性セミナー開講

ＪＡ女性部三次地区本部は６月19日、三次農協会館で2026年度ＪＡ女性セミナーの開講式を行いました。

同セミナーは、女性の資質向上と共に健康で明るく豊かなくらしを築くことを目的に年６回の講座を開いており、今年度は42人が受講します。

開講式の後に行われた第１回の講座では、岐阜アグリフーズ株式会社の木原由美子さんを講師に迎え、美と健康について学びました。

▲美と健康について学ぶ受講者

支部活動

川西支部

藍染め教室

青河支部

青河ほたる祭へ出店

たんぽぽの会 神杉支部

三次消防署見学

㈱三次ケーブルビジョンコミュニティチャンネル 農業情報番組ガイド 111ch

放送時間　7:00～7:15･12:00～12:15･19:40～19:55

放送日	内　容	担当者
９月７日(月)～９月13日(日)	水稲刈取り後の管理と白ネギの栽培管理について	朝日
９月21日(月)～９月27日(日)	秋撒き野菜の栽培管理について	上田

※放送内容（予定）は変更になる場合もあります。

JAグリーンみよし盆休業のお知らせ

８月15日(土)、16日(日)を休業とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

９月のお知らせカレンダー

９月12日(土) ふれあい活動

お知らせ

ＪＡひろしま三次地域ぶどう振興協議会より

＼抽選で20名様に／
三次産「ぶどう」1箱（2kg入り）プレゼント！

※品種、生産者の指定はできません

応募期間 令和８年８月８日（土）～19日（水）※当日消印有効

応募方法 郵便ハガキ又は各支店窓口にあります応募用紙に、住所・氏名・電話番号を明記の上、ご応募ください。
※ご応募はお一人様1口までとさせていただきます。
ご記入いただいた個人情報（住所・氏名・電話番号）は、本キャンペーンの抽選、賞品発送を目的に利用させていただきます。

応募宛先・応募用紙提出先

●郵便ハガキ　〒729-6213　三次市廻神町3370番地
ＪＡひろしま三次地域営農経済センター　営農販売課
ＪＡひろしま三次地域ぶどう振興協議会事務局キャンペーン係　宛

●応 募 用 紙　各支店窓口

賞　品 三次産「ぶどう」２kg入り１箱 …… 20名様（品種、生産者の指定はできません）

当選発表 厳正な抽選の上、ご当選者の発表は賞品の発送（９月中旬～10月上旬予定）をもってかえさせていただきます。

お問い合わせ先 事務局　JAひろしま三次地域営農経済センター　営農販売課　0824-66-3857

産地紹介

『JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会』とは？

ＪＡひろしま三次地域管内の三次ピオーネ生産組合、みらさかピオーネ生産組合、三次市ぶどう部会、ぶどうの里づくり部会の生産者で組織しています。

三次盆地の標高差と寒冷な気候を生かし7月の昼夜の温度差により着色が良く糖度も高くなるため、ぶどう栽培に適した環境となっています。

現在では約57haの面積で品種はピオーネ・シャインマスカット・安芸クイーン・ベリーAなどを栽培しています。

今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようよろしくお願いいたします。
たくさんのみなさま方のご応募お待ちしております‼

JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会
（三次ピオーネ生産組合、みらさかピオーネ生産組合、三次市ぶどう部会、ぶどうの里づくり部会）